



上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



THE MAGIC OF ROTARY



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3028回 例会

2024. 9. 12

会長あいさつ

週報 No.2267

発行 2024年 9月 26日

2024-2025年度
 会長 門崎 由幸
 幹事 齋藤 哲雄
 副会長 坂本 忠光
 副幹事 大木 崇寛
 編集責任者・公共イメージ向上委員会
 委員長 丹井 亮一

ゲスト

元ロータリー米山記念奨学生
 上尾商工会議所青年部メンバー
 杜華驪(もり かりゅう)さん

行事予定

- 10月3日 セミナー報告
 青少年・国際奉仕/R財団
- 10月10日 中期戦略計画～会員拡充
 クラブフォーラム
- 10月17日 社会奉仕事業 献血
- 10月26日 藤村病院 健康フェア
 ポリオ根絶募金活動
- 10月31日 VTT事業贈呈式
 報告及びPJ発表

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。まず先週の公式訪問、たいへんお疲れ様でした。皆さんのおかげをもちまして、無事に終了することができました。カバナーからもお褒めの言葉をいただきました。さすがの上尾クラブだという話もいただきました。やはり第5グループの長兄ということで、歴史と伝統を持ったクラブであるのかなと思っております。是非ともこの流れをしっかりとして受け継いでいければいいなと思っております。

また先週、9月7日、上尾高校の文化祭に参加させていただきました。インターアクト同好会の出展教室にも寄らせていただき、チャリティ缶バッジを購入してきました。皆さんのぶんも購入しましたのでお配りをいたします。教室内の展示では難民に関する調査研究を発表してありました。難民を調査した中で今後どうしていくべきか、今後、国際的にいろいろな経験、交流、親睦といった形で活躍していただければと思っております。

さて9月中旬になって暑い日が続いております。地球温暖化で様変わりをした日本の夏ですが、テレビで炎天下のスポーツと熱中症で重い後遺症で人生が変わったという報道特集を放映していました。6年前に高校野球の練習中で倒れた少年に後遺症が残って、脳の障害が出てしまって、その後、成人しても免許も取れず、就職もできずに、今そのような状況であるということです。このような事故が起きぬよう、現在取り組んでいるのが暑さ指数で、31を超える熱中症の恐れがあるということで体育の授業やスポーツ大会も中心になり、炎天下の中ではプレイしないという方向になってきているということです。クラブ活動でもサッカーやテニスは対応していますが、ただ高校野球だけ違う流れになっています。どうしても高校野球は試合日程が決まっています。それを消化しないと全てが終わらないという状況です。熱中症の恐れがあるならば、やはり中止を検討していかなければならないのかなと感じています。熱中症で後遺症が残るといった形は絶対にあってはならないことだと思っています。

さて本日の例会主題はVTT事業の説明とスケジュールの確認となっています。VTT事業は今回の訪問で終わらせるのではなく、継続



ROTARY CLUB OF AGEO

の流れを作っていかなければならないと思っています。ベトナムとも、日本との経済連携協定が10年前に結ばれていて、看護師や介護士等の人材派遣という流れを作っています。今回のダナンでも、ぜひとも継続の流れをこれからも作っていければなと思っておりますので、皆さんのご協力をお願い申し上げます。本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

齋藤 哲雄 幹事

◇会長挨拶の中にもありましたが、9月7日(土)に上尾高校の文化祭に門崎会長・長沼直前会長と私とで訪問させていただきました。



◇同じく9月7日、大塚崇行会員と樋口会員が青少年交換留学生15名のシタツアターの引率で、東京見物に一日同行されたそうです。

◇来週9月19日(木)は移動例会で上尾市議会の傍聴というプログラムになっています。11時30分から尾花会員の経営されているソラリスで食事をいただき、市役所の5階傍聴ロビーに12時30分集合という流れになっております。

◇9月26日は夜間例会です。

◇地区大会のご案内をお配りしました。11月16日、17日に行われます。詳細はまた追って連絡させていただきます。

委員長報告

ロータリー財団委員会 長沼大策委員長

本日、大塚信郎会員から1000ドルのご寄付いただきました。ありがとうございました。

ポールハリスフェロー授与

長沼 大策会員



お客様からあいさつ

元米山記念奨学生/上尾 YEGメンバー 杜華驪さん

皆さんこんにちは。杜華驪(もり・かりゅう)と申します。本日はゲストとしてお招きいただき誠にありがとうございます。私は10年前に米山記念奨学生として藤岡北ロータリークラブでお世話になりました。今でもロータリークラブとこのように縁を紡いで定期的にお邪魔させていただいております。私はロータリークラブからたくさんを学んできました。それで5年前に1度こちらのクラブにお訪ねした時はまだ会社員でしたが、今年に入って独立して、海外の商品を日本の企業に提供する商社を起業しました。これからスタートアップなので色々大変な時期でもありますが、ロータリークラブからもらった勇気や、皆さんの人間性を勉強して、きっと成功できるかなと強く思っています。今後とも皆様からご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



例会主題

VTT事業贈呈式説明

及びダナンツアー説明

クラブ国際奉仕委員会 藤村 作 委員長

今日はVTTの説明ということですが。この事業へは来月行きますので、その細かい説明ということなんですけれども、本来は事業が終了して、皆さんに報告するつもりだったので、ちょっとそれがずれた説明会ということになっておりますので、ご了承ください。ただ6月終わりから7月にかけて、準備段階としてまいりました事業に関しては、何回か前の例会で動画を皆さんにお見せしたいと思うので、ご用意させていただければと思います。



ということで、上尾ロータリークラブVTT事業についてということですね。VTT=ボケーショナルトレーニングチーム、ロータリー財団の職業研修チームプログラムです。

10月14日から17日までに、ベトナムのダナン市に



ROTARY CLUB OF AGEO

ある整形外科リハビリテーション病院に行きます。今回、参加者としては、うちの病院からは医療士2人と私、池田さん(コーディネーター)、上尾クラブからは門崎会長、齋藤博重さん、久保田さん、樋口さんとなっています。まずは病院の全景です。ホームページに掲載されている画像を引っ張ってきたんですけど、中はこの間動画で見ていただいた通りです。ダナンの市郊外にあって、1000ベッドぐらいあります。リハビリテーションと整形外科中心の病院です。



これまでの経緯を少しお話ししておこうと思います。なぜダナンなのかということ、2017-18年度国際奉仕部門委員長だった大木さんからの提案で、ベトナムのハノイの病院に、難病の子供たちへの援助ということで行ってきました。ここからベトナムの事業が始まって、次の年からハノイからダナンに移って、障害者施設(赤十字の施設)へ遊具等の支援ということで、その次の年も2年連続で支援してきたわけですね。遊具の支援や施設内の改修工事を行いました。この辺りから、ちょっとコロナの影響でなかなか海外事業が難しくなってきたのですが、2020年にはダナン近郊の学校へ日本語の絵本を寄贈するという宇多村年度の事業をやったということになります。

今回病院にパネル(看板)を持っていくんですけど、前回と同じようなものを持っていくかなと思っております。集合写真はお世話になっているダナンロータリークラブの人たちです。ダナンRCの会長は60代の背の高い男性です。

次の写真は、施設の中の方で、障害を持った子供たちです。大体、ダウン症の子とか枯葉剤の影響を受けてる子供たちとかが住んでいます。

いよいよダナンVTT企画を立ち上げました。VTTは地区の企画と思ってる方がいるかもしれませ



んが、上尾クラブの企画なんですね。最初は2020年秋に、私と須田会員と小田切さんの3人が田中家で飲みながら立案しました。内容としては、グローバル補助金を使ってダナンでリハビリの支援をしようではないかということになりました。次の年になるとたまたまベストなタイミングでベトナムにロータリークラブができたんですね。ベトナムの中で4カ所ぐらい、ダナンとハノイとホーチミンと、あとフエにもできたんですね。その1つと提携させていただいて、一緒にやろうということになりました。

ダナンRCには支援する病院を探してくれないかと頼み、いくつか候補があり、その中で4月ぐらいに今のリハビリテーション病院に決定しました。そしてリハビリ機器の選定に入りました。本当は現地の企業のリハビリ機器を購入したかったのですが、

思うようなものがなくて交渉もうまくいなくて、結局、日本の企業で、ハノイに支店があるところをお願いしました。

さまでまて、前にも話した通り、6月末から7月初めにかけて10日間、機材を設置し、うちのリハビリ技師がトレーニングのやり方を教えました。そして今度10月に検証に行きます。

これからの国際奉仕についてですが、できればずっとベトナムで続いているので、これからも皆さんに国際奉仕を続けていっていただければありがたいなと思っております。

今回の事業としては10月で終わりますが、今後、向こうで教えた技術がうまく生かされて、患者さんの容態が改善されているかにかかってくるので、そういうデータを取りやすい機器を向こうに送って、データを今取ってもらっている最中なので、それを活かしてもらって、ベトナムのリハビリ事業が発展していくことを期待して、継続的にやっていこうということになっています。あとは病院関係者やダナン

RCと交流を続けていければいいなと思っております。

VTT事業としては多分最後閉まるまで2年ぐらいかかると思うので、引き続きデータを取りながらやっていきます。できれば向こうの理学療法士とかを来年、再来年あたりに上尾に呼んで、こっちのリハビリの方と交流していただいても発展させ、こちらのリハビリセンターの院長先生にも了解を得るので、連れていきたいな思っています。その辺りの資金をどうするかは全然決まっていなくて、これからです。

最後に国際奉仕委員長として台南東北RCさんの32周年記念式典が12月8日(日)、沖縄で開催されます。この式典前後に希望があれば旅行企画を立ててもいいかなと思っております。ぜひ大勢の皆さんのご参加をお願いいたします。

それと地区大会ですが、第1日目にロイヤルパインズホテル浦和で午餐会が開催されます。PHSとPPSの方に寄付認証バッジの授与式を行います。以上になります。ありがとうございました。

スマイル

藤村委員長、卓話いただきありがとうございました!

門崎会長/齋藤哲雄幹事/坂本副会長/大木崇寛副幹事/
 大塚信郎会員/尾花会員/大塚崇行会員/島村会員/深澤会員/
 久保田会員/藤村会員/宇多村会員/長沼会員/丹井会員/
 山崎会員/木田会員/

出席率	
会員数	35
出席免除	0
出席対象者	30
出席者数	14
46.67%	

上尾高校インターアクト同好会が、文化祭で難民支援の缶バッジをチャリティー販売!

2024年9月7日に開催された文化祭で、上尾高校インターアクト同好会が、難民を支援するため、オリジナル缶バッジを製作しチャリティー販売しました。生徒さんたちがデザインした缶バッジには1つ1つに思いが込められています。缶バッジの原価を除いた収益を、NGOとNPO難民支援協会に寄付する予定です。上尾高校インターアクト同好会の皆さん、素晴らしい取り組み、お疲れ様でした! 難民と呼ばれる人がいなくなり、世界に平和が訪れることを祈ります。



例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
 例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

